

芋井地区 市民ワークショップの概要について

平成 28 年 5 月 17 日現在

- 1 主 催：長野市行政管理課、芋井地区住民自治協議会
(運営支援：一般財団法人長野経済研究所、日本管財株式会社
アドバイザー 前橋工科大学 堤洋樹 准教授)
- 2 趣 旨：再配置計画の策定にあたり、計画策定前段階から市民と行政と一緒に検討するため、芋井地区住民自治協議会の協力を得ながら、地域の公共施設に関する初めての試みとして、市民参加によるワークショップを実施する。
人口減少時代の中、地域の賑わいや、まちづくりにつながる集約化、多世代交流や地域間交流の促進を生み出す複合化・多機能化等を考慮した公共施設の見直しについて様々な意見を出し合い、議論の結果を整理し、公共施設再配置計画のモデル地区に位置付ける。
- 3 参加者：地区在住の方 約 20 名 (住民自治協議会推薦の方を中心とした参加者)
信州大学生 (工学部)、市職員 それぞれ若干名
総参加者 約 30 名 ※5 グループを編成

4 日程等

	日時	概要	場所
第 1 回	5 月 21 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00	・主催者あいさつ ・オリエンテーション/施設概要説明 ・ワークショップ (グループ討議) 予定テーマ：地区の将来、こんな地域を作りたい	芋井支所 〔終了後施設視察 (大学生等)〕
第 2 回	6 月 4 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00	・オリエンテーション ・ワークショップ (グループ討議) 予定テーマ：公共施設でしたいことと施設の活用方法 ・中間発表 ・堤アドバイザー助言	第一分校
第 3 回	6 月 11 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00	・オリエンテーション ・ワークショップ (グループ討議) 予定テーマ：運用面からみた将来の公共施設再配置のかたち ・グループ討議まとめ ・発表準備	芋井公民館
第 4 回	7 月 2 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00	・オリエンテーション ・グループ意見発表 ・意見交換 ・講評 ・主催者あいさつ	芋井支所

5 ワークショップの目的

長野市の公共施設の現状と課題を踏まえて、単なる施設の存続、廃止という議論ではなく、将来の芋井地区にとって必要な機能は何か、どんなサービスが必要なのか議論の積み上げを行う。

芋井支所、小学校、第一分校、中学校跡を中心として、これらの施設の将来像について、参加者が自由な意見を出し合うグループ討議を実施する。

ワークショップの中で出された提案や意見等を整理し、複数の再編検討案のメリット・デメリットを比較して公共施設再配置計画に示す。

なお、ワークショップで検討対象施設の在り方等の結論を決定するものではない。

6 芋井地区を選定した理由

公共施設マネジメント推進について、各地区住民自治協議会向けの出前講座を開催してきた中で、芋井地区から「閉校した中学校舎の活用等、地区として検討してきた経過と要望があるので、再配置計画等行政が一方的に進めないで欲しい」との意見があり、ワークショップ開催について住民自治協議会の協力が得られることとなったため。